

第26回アジア太平洋雑草科学会議のご案内

第26回アジア太平洋雑草科学会議 (The 26th APWSS Conference) が本年9月19日(火)から22日(金)の4日間にわたり京都市サテライトパークにおいて開催されます。「人と農と自然のための雑草科学」をテーマに日本で開催されるこの国際会議に我が国の雑草とその制御に関わる全ての皆様にご参加いただきたく、本誌にてご案内いたします。

アジア太平洋雑草学会 (Asian-Pacific Weed Science Society) は、1967年6月にハワイで開催された第1回会議において、アジア太平洋地域の雑草科学に関する情報交換と雑草研究の推進を目的として設立されました。その後アジア太平洋地域の国々で隔年開催され、それぞれの国の雑草学会や雑草研究グループが会議運営を主体的に担いながら現在まで続いています。今年は創立50年目の記念大会となります。これまで日本はアジア太平洋雑草学会に委員を派遣して、常に主導的な立場で本地域の雑草研究の推進に貢献し、1975年10月の東京での第5回会議、1995年7月のつくばでの第15回会議を開催してきました。今回は22年ぶりの3度目の開催となります。APWSS会長である筑波大学の松本宏教授を中心に第26回組織委員会が組織され、現在、準備が進められています。

今回の主な企画を紹介しますと、2日目の9月20日(水)にはアメリカ合衆国農務省のStephen Oscar Duke博士による基調講演が予定され、3日目には植調協会の濱村謙史朗千葉支所長とシンジェンタのShiv Shankhar Kaundun博士、4日目にはソウル大学のDo Soon Kim博士と東京農工大学の藤井義晴博士がそれぞれの専門分野を代表して除草剤開発、除草剤抵抗性、ヒエの生態と防除、アレロパシーなどについて講演されます。また、2日目のDuke先生による基調講演の後には50周年記念講演会が開催され、長年にわたりアジア太平洋地域の雑草研究の推進に貢献されたフィリピンのAurora Baltazar博士、オーストラリアの

Steve Adkins博士、国際雑草学会会長のNilda Burgos博士、活発な国際活動をされているNimal Chandrasena博士、日本からは植調協会の森田弘彦技術顧問により、それぞれの視点で本地域を代表する講演が予定されています。この他にも、1日目の9月19日(火)に農研機構による雑草イネをテーマにしたシンポジウム、同日の別会場では若手研究者を対象にした論文作成のためのワークショップが計画されています。このように、本会議は、アジア太平洋地域の雑草とその制御に関する専門家が一堂に会し、その時々々の雑草に関する有用で新しい情報交換が活発に行われ、今後の雑草研究の課題と進め方が熱心に論議されます。

参加登録はWeb上で行いますが、7月20日までは登録料5万円(学生2万5千円)、それ以降は6万円(学生3万円)となります。家族等の同伴者には1万円の登録料が設定されています。登録料には、プログラム集および会期中(9月20~22日)の昼食、1日目のWelcome Receptionと3日目のConference Dinnerが含まれます。今回はプロシーディング集とアブストラクト集の冊子体は配布されず、電子ファイルでのアブストラクト集の提供が検討されています。開発途上国からの学生の発表には組織委員会と国際雑草学会による補助制度が準備されています。また、優れた口頭発表やポスター発表に対してはベスト発表賞の表彰が予定されています。以下に開催要領を示しますが、第26回APWSS Conferenceのウェブサイト、APWSS2017Kyoto <<http://www.c-linkage.co.jp/apwss2017/index.html>>で詳細をご確認ください。日本雑草学会にも学生会員に対する第26回APWSS会議出席費補助の制度があります(http://wssj.jp/international/26th_APWSS_hojo.html)。なお、農業メーカーなど民間企業等の皆様には、会場での企業展示や出版物への広告掲載も随時受け付けていますので、関心がございましたら運営事務局にお問い合わせください。

開催要領

1. 会議の名称:

第26回アジア太平洋雑草科学会議

The 26th Asian-Pacific Weed Science Society Conference

2. 会議のテーマ:

人と農と自然のための雑草科学

Weed Science for People, Agriculture, and Nature

3. 組織委員長：松本 宏（筑波大学生命環境系）

4. 開催日時：2017年9月19日（火）～22日（金）

5. 開催会場：京都市サーチパーク

日付	午前	昼	午後
9月19日 （火）			登録, ウェルカム レセプション
9月20日 （水）	開会式, 基調 講演 50周年記念大 会記念講演	一般研究発表 （ポスター）	一般研究 発表（口頭）
9月21日 （木）	プレナリーレクチャー 一般研究発表 （口頭, ポスター）	一般研究発表 （ポスター）	一般研究 発表 （口頭, ポスター） コンファレンス ディナー
9月22日 （金）	プレナリーレクチャー 一般研究発表 （口頭, ポスター）	一般研究発表 （ポスター）	閉会式

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

<http://www.krp.co.jp/>

6. 会議の目的：

雑草科学は、雑草の植物としての性質およびその制御、利用、保全などに関する学問であり、雑草を知り、適切な管理・保全につながる基礎的研究や技術開発を通して、人類共通の課題である食料生産や環境保全へ貢献することを目指しております。アジア太平洋雑草学会は雑草科学に関する非営利専門学会であり、アジア太平洋地域の雑草問題や管理などに関する研究、教育、普及活動を進め、科学ベースの情報を市民と政策立案者に提供することおよび耕地生態系や自然生態系における雑草の影響を明らかにすることを目的に活動しております。近年は、新規の作用機構を持つ除草剤の登場、諸外国での除草剤耐性組換え作物の栽培面積の飛躍的な拡大があり、一方では雑草における除草剤抵抗性生物型の進化や新たな外来雑草の侵入・定着の増大などの問題に直面しており対応が求められています。雑草科学は基礎から応用までの幅広い分野を包含し、次々に生

じる新しい課題にも積極的に取り組んでおり、本会議でも、これらのさまざまな諸課題について研究発表や討論が行われます。研究により得られた結果の集約とそれに基づく議論は、新しいさまざまな課題に対する解決策を見出す上で必要不可欠であり、重要な意味を持つと考えます。

7. 会議の概要

(1) 会議の構成（予定）

基調講演、プレナリー講演、50周年記念大会記念講演、
一般研究発表（口頭発表、ポスター発表）

(2) 参加予定者 約400人

(3) 使用言語 英語

(4) 会議の日程（予定）

8. 組織委員会

委員長：松本 宏

副委員長：富永 達、藤井義晴

事務局：與語靖洋、春原由香里、宮浦理恵、下野嘉子

財務委員会：渡邊寛明、澁谷智子、中谷敬子、森島靖雄、

田中 易、早川秀則

プログラム委員会：内野 彰、藤井義晴、加藤 尚、

小林浩幸、岩上哲史、池田 源

登録委員会：與語靖洋、春原由香里、下野嘉子

50周年記念大会記念講演：藤井義晴、渡邊寛明、

横山昌雄、大塚 隆

賞選考委員会：富永 達、渡邊寛明、森島靖雄、

高橋宏和

会場催し物委員会：森本正則、三浦励一、中山祐一郎、

本田久志、菊川弘司、渡辺重臣

9. お問い合わせ先 / 各種申込先

第26回アジア太平洋雑草科学会議（APWSS2017 Kyoto）

運営事務局

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町634

株式会社コンベンションリンケージ内

Tel: 075-231-6357 Fax: 075-231-6354

E-mail: apwss2017@c-linlage.co.jp